

第4章 福岡市における墓地・納骨堂の需要予測

第4章 福岡市における墓地・納骨堂の需要予測

1 需要の予測方法

福岡市市長室広聴課「令和7年度 市政に関する意識調査」において市民に墓地・納骨堂に関する意識調査を行い、得られた値及び国統計資料の値を基に、将来の福岡市における墓地・納骨堂の需要数を予測する。

需要予測の計算方法は以下の推計式により算出した。

(推計式)

$$\text{需要数} = \text{死亡者数} \times \text{定着志向係数} \times \text{必要者割合}$$

死亡者数：国立社会保障・人口問題研究所（令和5年12月1日現在）市区町村別仮定値データ

定着志向係数：『令和7年度 市政に関する意識調査』において、福岡市の住みやすさに関する調査項目の問3で「福岡市にずっと住み続けたい」と回答した人の割合

必要者割合：『令和7年度 市政に関する意識調査』において、墓地・納骨堂に関する調査項目の問8において「新たにお墓や納骨堂の取得を考えている」と回答した人の割合に、問12における5年毎の取得意向割合を乗じた割合

2 需要予測結果

年	将来の死亡者数(人)	定着志向係数(%)	必要者割合(%)	需要数 (1人未満四捨五入)	
				5年当たり	1年当たり
2026～2030	75,213	92.9	3.8	2,655	531
2031～2035	81,166	92.9	4.4	3,318	664
2036～2045	177,209	92.9	3.1	(10年) 5,103	510

※必要者割合の計算式

「令和7年度 市政に関する意識調査」の問8「新たにお墓や納骨堂の取得を考えている」と回答した21.0%に、問12「お墓や納骨堂の取得はいつ頃を検討していますか。」において5年毎の取得割合を乗じて算出する。

(5年以内) $0.21 \times 88/482 = 0.0383 \approx 3.8\%$

(10年以内) $0.21 \times 82/394 = 0.0437 \approx 4.4\%$

(20年以内) $0.21 \times 46/312 = 0.0310 \approx 3.1\%$

市政に関する意識調査の結果に基づいて算出された墓地・納骨堂需要予測結果は表のとおりである。この結果より、市民の墓地・納骨堂の必要数は、2026年から向う5年間は531基/年、2031年から5年間は664基/年、2036年から10年間は510基/年である。

3 考察

国立社会保障・人口問題研究所発表の市区町村別仮定値データに基づき推計した死亡者数に、「令和7年度 市政に関する意識調査」による定着志向係数と必要者割合を乗じて推計した需要数であることから、墓地・納骨堂に対する市民意識の把握に努めつつ、需要動向を検証していくことが重要である。

